

<構想の名称>

「無くしてはいけない技」の継承に向けた取組み

<背景とねらい>

岩手県内には、恵まれた自然そして、各地域の気候風土や豊富な資源の中で育まれてきた独自の地場産業（農、魚、工、商業など）や伝統工芸などが数多く存在しており、古くから岩手県の産業振興を担うとともに伝統文化を形作ってきた。

これらの貴重な財産を現在まで支え伝えてきたのは、各地の名工(伝統工芸士)・技術者・その道一筋の熟練者などであり、高度な「技」やノウハウを地域の中で継承してきたものがほとんどである。しかし、全国的に名前が知れ軌道に乗っているものもある一方で、少子高齢化や就業意識の変化に伴う後継者不足により「技」の存続が危ぶまれているものも数多く存在するものと考えられる。

一方、金融危機に端を発する不況により職を失った方も多く失業率も改善されず、農業など新たな分野へ職を求める人も増加している。

このため、自治体、企業、学校関係者などが連携して、上記の「無くしてはいけない技」を認定し、その概要を広く情報提供する一方で就業希望者とのマッチングを図り、技術継承・後継者育成・地場産業の維持・地域の活性化・就職支援などを図るものである。

<構想の基本的考え方>

岩手県内にどのような「技」があるのかを調査し、その中から「無くしてはいけない技」を認定する。

一方では、その情報を広く（将来的には県外にも）提供して就業希望者を募り、就業環境・条件を含めたマッチングを行い、後継者を見つけ・育てていく。

新たな産業の誘致活動は継続していく一方で、無くしてはいけない伝統を守っていくことにより、産業の維持・発展を図っていくという考え。

<構想に基づく取組等の概要（具体的な内容）>

特に新たな組織は必要としないが、各自治体がそれぞれの地域の「技」の調査・認定・就業希望者との取次ぎを行い、県が主体となって広く情報提供していくことが必要となる。

概要は次のとおりである。

「技」の調査・認定

県内各自治体が依頼元となり、商工会議所や各企業と連携して、各地域の「技」を調査し、「無くしてはいけない技」を認定する。特に、その仕事の重要さ、楽しさ、「やりがい」等を確実に把握する。

「技」の情報提供と就業希望者の募集

市町村が認定した技を関係箇所へ情報提供し、就業希望者を募集する。実施にあたっては、岩手県産ホームページなどの利用・拡充も検討し、就業条件等も詳細に提示する。

初めの数年間は県内での活動を中心にを行い実施状況と効果を把握する。将来的には県外も視野に入れたネットワークの構築を検討する。

就業希望者の取次ぎ

市町村が、就業希望者と「技」提供者（各企業等）との取次ぎと仲介を行う。

企業等は、あらかじめ「技」の伝承者を定めておき、就業希望者との面談等（マッチング）を行い継承適任者かどうかの判断を行う。

なお、各企業等は実体験機会を作るなど、マッチングや育成に向けた環境を整えるほか、衣食住など就業環境についても検討する。

地域教育の推進

学校および関係機関は、認定された「技」を含む地域学習を積極的に行い、文化・風土・歴史・産業など地元の良さを知り、地元へ愛着を持つ若者を育成し、地元地域から「技」の継承者が確保できるよう、継続した対応を行う。

<取組にあたっての役割分担（県・県民・NPO・企業・団体・市町村など）>

- | | |
|-----|--|
| 市町村 | ・各地域の「技」を調査し、「無くしてはいけない技」を認定する。
・就業希望者と「技」提供者との取次ぎと仲介を行う。 |
| 商工会 | ・市町村と協力して「技」を調査を行う。 |
| 県 | ・市町村が認定した技を関係箇所へ情報提供し、就業希望者を募集する。
・将来的には県外も視野に入れたネットワークの構築を検討する。 |
| 学校 | ・認定された「技」を含む地域学習を積極的に行う。 |
| 企業等 | ・市町村の依頼に基づき「技」の伝承者を決める。
・実体験機会を作るなど、マッチングや育成に向けた環境を整える。
・衣食住など就業環境についても検討する。 |